

安全データシート よう化プロピジウム

作成日 2018年1月17日

1. 化学物質等の名称及び会社情報

| | |
|--------------|---------------------------------|
| 製品の名称 | Propidium Iodide (PI) |
| 該当コンポーネントの名称 | Propidium Iodide (PI) |
| 会社名 | タカラバイオ株式会社 |
| 住所 | 〒525-0058 滋賀県草津市野路東七丁目 4 番 38 号 |
| 担当部署 | タカラバイオテクニカルサポートライン |
| 電話番号 | 077-565-6999 |
| FAX 番号 | 077-565-6995 |
| 製品コード | PK-CA707-40016 |
| TaKaRa Code | D25538 |

2. 危険有害性の要約（以下、濃度を記す項目以外は単一物質について示す）

| 物理化学的危険性 | <u>危険・有害性項目</u> | <u>GHS 分類結果</u> |
|-----------|--------------------------------|-----------------|
| | 火薬類 | 分類できない |
| | 可燃性 / 引火性ガス | 分類対象外 |
| | 可燃性 / 引火性エアゾール | 分類対象外 |
| | 支燃性 / 酸化性ガス類 | 分類対象外 |
| | 高压ガス | 分類対象外 |
| | 引火性液体 | 分類対象外 |
| | 可燃性固体 | 分類できない |
| | 自己反応性物質および混合物 | 分類できない |
| | 自然発火性液体 | 分類対象外 |
| | 自然発火性固体 | 分類できない |
| | 自己発熱性物質および混合物 | 分類できない |
| | 水と接触して可燃性 / 引火性ガスを発生する物質および混合物 | 分類できない |
| | 酸化性液体 | 分類対象外 |
| | 酸化性固体 | 分類できない |
| | 有機過氧化物 | 分類できない |
| | 金属腐食性物質 | 分類できない |
| 健康に対する有害性 | <u>危険・有害性項目</u> | <u>GHS 分類結果</u> |
| | 急性毒性（経口） | 分類できない |
| | 急性毒性（経皮） | 分類できない |
| | 急性毒性（吸入：ガス） | 分類できない |
| | 急性毒性（吸入：蒸気） | 分類できない |
| | 急性毒性（吸入：粉塵） | 分類できない |
| | 急性毒性（吸入：ミスト） | 分類できない |
| | 皮膚腐食性 / 刺激性 | 分類できない |
| | 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 | 区分 2B |
| | 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 分類できない |
| | 生殖細胞変異原性 | 区分 2 |
| | 発がん性 | 分類できない |
| | 生殖毒性 | 分類できない |
| | 標的臓器 / 全身毒性（単回暴露） | 分類できない |
| | 標的臓器 / 全身毒性（反復暴露） | 分類できない |
| | 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 環境に対する有害性 | <u>危険・有害性項目</u> | <u>GHS 分類結果</u> |
| | 水生環境急性有害性 | 分類できない |
| | 水生環境慢性有害性 | 分類できない |

絵表示：



注意喚起語：
危険有害性情報：

警告
H320 - 眼刺激を起こす
H341 - 遺伝性疾患のおそれの疑い

注意書き：

【安全対策】使用前に取扱説明書を手入手すること。すべての安全予防措置を読み、理解するまでは取り扱わないこと。個人用保護具を着用すること。取扱い後には顔や手など、ばく露した皮膚を洗う。

【応急措置】ばく露、もしくはその恐れがある場合、医師の治療を受けること。眼に入った場合、数分間目を閉じて洗淨する。もしコンタクトを装着して、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗淨を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の治療を受けること。

【保管】非該当

【廃棄】内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

ほかの危険有害性
国・地域情報：

情報なし
国内法は第 15 章「適用法令」を参照のこと。

3. 組成、成分情報

| | |
|----------------|------------------|
| 単一物質・混合物の区別 | 単一物質 |
| 化学名(又は一般名) | よう化プロピジウム |
| 別名 | Propidium iodide |
| 成分及び含有量 | >98% |
| 化学特性(化学式又は構造式) | 化学式: C27H34I2N4 |
| 官報公示整理番号 | |
| CAS No. | 25535-16-4 |

4. 応急措置

| | |
|--------------|--|
| 眼に入った場合: | 眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着して、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。 |
| 皮膚に付いた場合: | すぐに石鹸と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。 |
| 吸入した場合: | 新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。 |
| 飲み込んだ場合: | 口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。 |
| 応急処置をする者の保護: | 個人用保護具を着用すること。 |

5. 火災時の措置

| | |
|---------|--|
| 消火方法 | |
| 消火要領: | 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。 |
| 消防活動装備: | 個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。 |
| 消火剤: | 水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素(CO ₂)、泡、粉末消火剤、砂 |

6. 漏出時の措置

| | |
|------------------------|---|
| 人体に対する注意事項、保護具および緊急措置: | 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入したりしないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。 |
| 環境に対する注意事項: | 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。 |
| 回収・中和: | 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。 |
| 封じ込め及び浄化方法・機材: | 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。 |
| 二次災害の防止策: | 環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。 |

7. 取扱いおよび保管上の注意

| | |
|------|---|
| 取扱い: | 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいけない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。 |
| 保管: | 技術的対策: 強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。 混触危険物質: 強酸化剤 保管条件: 容器は遮光し、冷蔵庫(2~10°C)に密閉して保管する。不活性ガスを封入して保管すること。 容器包装材料: ガラス |

8. 暴露防止及び保護措置

| | |
|----------|---|
| 設備対策: | 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。 |
| ばく露限界: | この供給された製品は地域の特定取締機関によって発行された職業ばく露限界値のある有害危険物を含有していない。 |
| 保護具: | 防塵マスク、保護手袋、側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)、長袖作業衣 |
| 適切な衛生対策: | 産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。 |

9. 物理的および化学的性質

| | | |
|------------------------------------|--------|-----------------|
| 形状 | 色: 暗赤色 | 性状: 粉末 |
| 臭い: データなし | | pH: データなし |
| 融点: 220-225 (分解) | | 沸点: データなし |
| 引火点: データなし | | 発火点: データなし |
| 爆発範囲: データなし | | 蒸気圧: データなし |
| 蒸気密度: データなし | | 比重または高比重: データなし |
| 溶媒に対する溶解性: 水、エタノール、アセトン、ジメチルスルホキシド | | 溶解性: 溶ける。 |
| オクタノール/水分分配係数 log P: データなし | | 分解温度: データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|-------------|--|
| 安定性: | 光により変質するおそれがある。 |
| 危険有害反応可能性: | 通常の処理ではなし。 |
| 避けるべき条件: | 高温、直射日光 |
| 混触危険物質: | 強酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物: | 一酸化炭素(CO)、二酸化炭素(CO ₂)、窒素酸化物(NO _x)、ハロゲン化物 |

11. 有害性情報

| | | |
|-----------|------|-------|
| 刺激性: | 目刺激 | データなし |
| 急性毒性: | 経口毒性 | データなし |
| | 経皮毒性 | データなし |
| 皮膚腐食性/刺激性 | | データなし |

| | |
|------------------|-------|
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | データなし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | データなし |
| 生殖細胞変異原性 | データなし |
| 発がん性 | データなし |
| 生殖毒性 | データなし |
| 標的臓器/全身毒性(単回暴露) | データなし |
| 標的臓器/全身毒性(反復暴露) | データなし |
| 吸引性呼吸器有害性 | データなし |

12. 環境影響情報

| | |
|-----------|-------------|
| 水生環境急性有害性 | データなく分類できない |
| 水生環境慢性有害性 | データなく分類できない |

13. 廃棄上の注意

| | |
|------------|--------------------------------------|
| 残余廃棄物: | 本品を廃棄する際には、国、都道府県並びにその地方の法規、条例に従うこと。 |
| 汚染容器および包装: | 本品を廃棄する際には、国、都道府県並びにその地方の法規、条例に従うこと。 |

14. 輸送上の注意

| | | |
|------|--------|-------|
| 国際規制 | 国連分類 | 該当しない |
| | 国連番号 | 該当しない |
| | 海洋汚染物質 | 該当しない |
| 国内規制 | 該当しない | |

15. 適応法令

| | |
|-------------|---|
| 毒物および劇物取締法: | 該当しない |
| 化管法(PRTR法): | 該当しない |
| 労働安全衛生法: | 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)、 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条、施行令第18条別表第9) |
| カルタヘナ法: | 該当しない |

16. その他 引用文献等

1. 改定第2版 労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社(2007)
2. 化学品かんたん法規制チェック「ezCRIC」日本ケミカルデータベース株式会社 Web 版
3. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE) GHS分類結果データベース
4. 危険物防災救急要覧—化学物質の性状と取り扱い—(社)神戸海難防止研究会編 成山堂書店(1993)
5. 化学大辞典 共立出版(1993)
6. Registry of Toxic Effects of Chemical substances NIOSH CD-ROM(2004)
7. The Merck Index 13th edition Merck&Co.Inc(2001)
8. 14303の化学商品 化学工業日報社(2003)

* 当社の販売する試薬は試験研究用途に限定して販売しております。

* 製品を取扱う前に取扱説明書をよく読んで、専門知識のある技術者、研究者がお取り扱い下さい。

* 危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。

* 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の値は製品としての保証値ではありません。

* 注意事項等については通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いについては、この点のご配慮をお願いします。